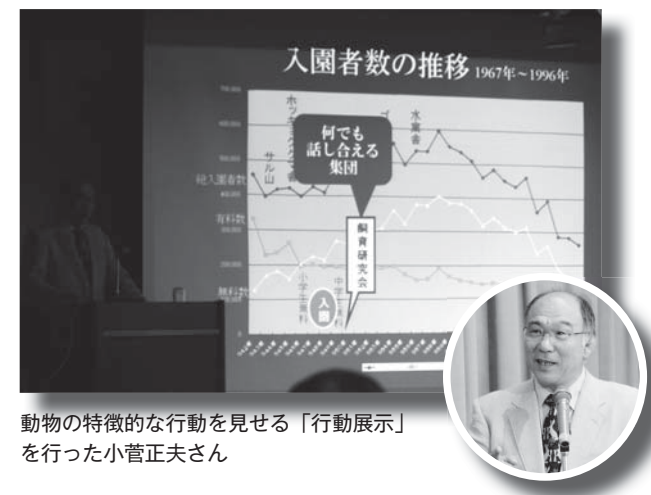


講演会で理解深める

旭山動物園 復活への取り組み学ぶ



動物の特徴的な行動を見せる「行動展示」を行った小菅正夫さん

穀 彩王国推進実行委員会主催の「元気の出る講演会」は9月25日、グリーンテージで行われ約100人が参加しました。15回目を迎えたこの講演会では北海道大学客員教授（前旭山動物園園長）の小菅正夫さんが「旭山動物園「革命」夢を実現した復活プロジェクト」と題して講演を行いました。

小菅さんは、閉園の危機にあった日本最北端の動物園・旭山動物園が、月間入園者数日本一に再生するまでの取り組みを、多くの事例とともに紹介。訪れた参加者は熱心に聞き入っていました。

町 ところの健康づくり連絡会主催の「ところの健康づくり講演会」が9月29日、総合センターで行われ約60人が参加しました。

脚本づくりからキャストなどすべて障がい者とボランティアで行っている一関市の劇団「キラりん一座」が、自分たちの体験や思いをセリフにし、心の病や精神障がいについての理解を広げました。

また、県立一戸病院副院長の小井田潤一先生が「見守りのある地域づくり～聴くことの大切さ～」と題して講演し、関心を持って相手の話を聞くことの大切さなどについて話しました。

心の病や精神障がいへの理解を広げる



定期的に本町を訪れ相談や家庭訪問を行っている小井田先生④キラりん一座の舞台

人生に不可能はない スワダさんに学ぶ



アメリカの政治や社会情勢をとり上げる週刊誌・ニュースウィークで「世界で尊敬する日本人100人」に大きく取り上げられたスワダさん

「夢」 に向かって果敢に挑戦！教育特選別講演会」は10月9日、グリーンテージで開催され約80人が参加しました。

「人生に不可能はない、砂漠に世界一の学校を創った」と題し、スワダ・アル・ムダファールさん（旧日本名・森田美保子）が講演。スワダさんはオマーンで幼児から高校生まで学ぶ「アザン・ビン・ケイス私立学校」を90年に設立し、資金もゼロから、教員免許もないにも関わらず国内では有数の名門校に築き上げました。「枠からはみ出して考える応用力も必要。人生には不可能はありません」と挑戦することの意義を強調しました。

祝 月花フジエさん 100歳に

月花フジエさん（田屋）は10月15日、めでたく満100歳の誕生日を迎えました。鈴木重男町長は、月花さんが入所している高砂荘へお祝いに駆け付け「元気で、長生きしてください」とお祝い金や花束などを手渡し、「ありがとうございます」とフジエさんは元気に大きな声でこたえました。

フジエさんは子6人、孫16人、ひ孫15人に恵まれ「お酒と歌」が大好きで、山ぶどうを自分で搾って飲んでいたことが長寿の秘けつとのこと。



高砂荘から贈られたケーキのロウソクを吹き消す月花さん

町産100%なたね油 「なあぶら」販売

町農業再生協議会は、耕作放棄地の解消などを目的に昨年9月に町内農家で約1ha作付けされたなたねから油を搾り、町産100%なたね油「なあぶら」を販売します。今年8月、約750kgのなたねを収穫、同協議会が農家から原料として買取り、秋田県小坂町の搾油施設（株式会社）に加工を委託しました。

町は、農家の高齢化、後継者不足などの影響による遊休農地への「なたね」の作付助成を行なっています。遊休農地の解消と、なたね油を活用した特産品開発、



720mlが1,260円、300mlが630円 産直ハウスほすなあぶら販売中

廃油回収によるBDF（バイオディーゼル燃料）への有効利用による資源循環型社会の構築を図ります。

多年にわたり在職し地方自治の進展への功労が認められ町議会の中崎和久議長（58歳）



樽床総務大臣⑥から表彰を受ける中崎議長

中崎議長は「今までご指導いただいた先輩方、叱咤激励いただいた同僚議員と地域の

皆さんのおかげです。これからもまちづくりのため、一生懸命頑張りたい」と話しています。

祝 中崎和久町議会議長 総務大臣表彰を受賞

橋場）が総務大臣表彰を受賞しました。

10月5日、全国町村会館（東京都）で総務省が行った平成24年度市町村長および市町村議会議員総務大臣表彰式で、市町村議会議員の受賞者4人を代表して樽床伸二総務大臣から賞状を受け、謝辞を述べました。

昭和59年、町議会議員に初当選、以来連続8期当選。平成12年からは議長に就任し、現在4期目。この間、平成15年から17年まで郡町村議会議長会会長、平成21年から23年まで県町村議会議長会会長および全国町村議会議長会副会長を務め、現在は岩手県町村議会議員顧問のほか、町森林組合会長としても活躍されています。